

愛媛大学考古学研究室第21回シンポジウム

“もう一つの塩の荘園”に 遺されたもの・こと・ひと

—中世の上島町宮ノ浦遺跡—

日 時：2026年2月14日(土) 12:30～16:50 (開場11:30)

会 場：愛媛大学メディアホール (城北キャンパス メディアセンター1階)



プログラム (事前申し込み不要・入場無料)

- | | |
|---|---------------------------------|
| 12:30 開 会 | 14:50 宮ノ浦に生きた人々 |
| 12:35 主旨説明 村上恭通 (愛媛大学) | —遺跡出土人骨の分析から— |
| 12:50 宮ノ浦遺跡における古代・中世の土器
様相と時期区分
青木聡志 (愛媛県埋蔵文化財センター) | 舟橋京子 (九州大学大学院大学院
比較社会文化研究院) |
| 13:20 宮ノ浦遺跡からみえる中世瀬戸内の流通
藤本史子 (大手前大学史学研究所) | 15:30 休 憩 |
| 14:00 休 憩 | 15:40 討 論 |
| 14:10 瀬戸内海島嶼部における「浜」の開発
—海浜に遺された土器・陶磁器から—
鈴木康之 (県立広島大学名誉教授) | 瀬戸内の島々を舞台とした中世荘園
—宮ノ浦遺跡を中心に— |
| | 16:50 閉 会 |

主催：愛媛大学法文学部考古学研究室・アジア古代産業考古学研究センター・上島町教育委員会

問合わせ：kotetsuAIC@gmail.com